

## 第1章

# 調査の概要

本調査の目的や調査の内容等について掲載しています。

さらに、令和6年度からCBT全面実施に伴い、問題の正誤の状況に加えて解答時間等も把握することができるようになり、各学校での児童生徒の状況について、分析の幅が広がりました。

# 1 調査の概要

---

## (1) 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

## (2) 調査の対象

県内市町村教育委員会、小・中学校及び義務教育学校並びに小・中学校及び義務教育学校に在籍する児童生徒。(教育委員会、小・中学校ともにさいたま市を除く)

### 【実施校数 (実施人数)】

- ・小学校 686校 (137, 367人)
- ・中学校 351校 (128, 883人)
- ・義務教育学校 3校 (518人)
- ・県立中学校 1校 (234人)

## (3) 調査の内容・方法

### ア 調査の内容

#### (ア) 児童生徒に対する調査

##### a 教科に関する調査

##### (a) 対象学年及び対象教科

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

中学校第1学年 国語、数学

中学校第2学年及び第3学年 国語、数学、英語

義務教育学校第4学年から第9学年まで (小・中学校の該当学年に準ずる)

##### (b) 出題範囲

学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前学年までの内容

##### b 質問調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

#### (イ) 学校及び市町村教育委員会に対する調査

学校における教育活動並びに学校及び市町村における教育条件の整備等に関する事項

### イ 調査の方法

C B T (Computer Based Testing)

#### (4) 調査実施日等

ア 実施日

令和6年4月24日(水)～5月22日(水)

イ 調査時間

(ア) 教科に関する調査は各教科1単位時間

(小学校1教科40分、中学校1教科45分)

(イ) 質問調査は小学校、中学校とも20～30分程度

## 2 CBT化と解答ログ

令和6年度の本調査から、パソコンやタブレットを使用したCBTを全校で実施しました。動画で授業場面を再現した出題が可能となり、児童生徒の日頃の学習に即した出題が可能となりました。教師の指導方法の工夫・改善だけでなく、児童生徒が何度も見直しに時間をかけた問題を把握することで、学習支援が必要な児童生徒を早期発見することにより、児童生徒一人一人の更なる学力や学習意欲の向上につながっていきます。

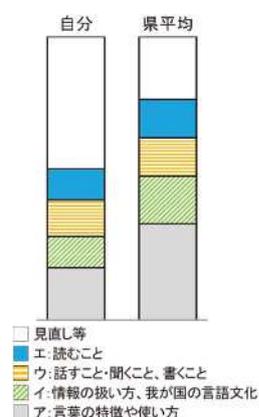
【参考例】映像を活用した問題



○ 動画で授業場面を再現した出題が可能

【参考例】個人結果票の一部

	あなたの 正答数	問題数	あなたの 正答率(%)	埼玉県 平均正答率(%)	あなたの かけた時間	県平均 かけた時間
ア	14	17	82.4	68.0	07分24秒	13分39秒
イ	5	6	83.3	64.2	04分25秒	06分40秒
ウ	2	5	40.0	51.3	05分07秒	05分26秒
エ	2	3	66.7	57.5	04分24秒	05分27秒
全体	23	31	74.2	63.6	21分20秒	31分12秒
未解答の問題	表示していない問題		あなたの 見直し等の 時間	埼玉県の 見直し等の 時間の平均		
なし	なし		18分40秒	08分48秒		



領域等	言葉の特徴や使い方
問題の概要	適切な接続語を選択する
見直し回数	1 正誤 正 県正答率 89.3%
かけた時間	00分23秒 かけた時間 00分22秒 県平均

○ 正誤の状況に加えて解答時間等を分析することで、より細かく児童生徒のつまずきを把握した指導改善が可能